

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○「すべての教育活動を生徒の成長と将来の幸福のために」を基本理念とした学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの個性や資質・能力を理解し、その伸長を図ることに努め、誰もが安全に安心して心豊かに生活し、寛政中学校の生徒として誇りをもてるような学校づくりを進めます。</li> <li>・生徒が学び育つための教育活動の展開や教育環境づくりに努め、生徒や保護者、地域社会の要請や信頼に誠実に答える姿勢を大切に、加えて家庭や地域とのよりよい連携や協働を生かして学校づくりを進めます。</li> <li>・教職員一人ひとりが自らの特性や能力を生かすとともに、相互の連携や協力により一人ひとりの教育力を発揮する方向性を揃え、有機的に機能する組織を大切にして学校づくりを進めます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<b>豊かな心</b>	<p>①子ども会議のテーマを基に人権について話し合い、「寛政中スローガン」を作成する。</p> <p>②校内で気持ちのよい挨拶ができるよう、生徒会を中心に週1回の「寛政中挨拶運動」を立ち上げる。</p>
担当	特別活動指導部

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

大多数の生徒は落ち着いて穏やかな生活を送っている。地域社会の絆も強く人のかかわりの機会は多くある。しかし、自尊感情や自信のなさ等から、人とのコミュニケーションに一步踏み出せないでいる生徒が少なくない。自己表現が苦手、学力不振による自信のなさも少なからず影響していると考えられる。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・外部指導者を招いての道徳研修会を実施し、道徳科の授業づくりについて研修し、指導に生かす。
- ・実生活との関連を重視した道徳教育の充実を図る。
- ・教科書や「中学生のための礼儀・作法読本」などの道徳教育用教材を活用した道徳科の授業実践

### 【項目 人権教育】多様性を認め、他者の思いを想像する力の育成

様々な人権課題について、当事者や支援者との出会いをつくり、差別の現実から学ぶ機会や多様性にふれる機会をつくります。

縦割り活動を通して、異学年との交流との関わりを築きます。